

「ペアレント・トレーニング」参加者募集！



子どもの行動に「困ったな…」、「どうすればいいのだろう…」など、悩みを抱えていませんか。ペアレント・トレーニングとは、お子さんのさまざまな行動に対してどのような対応が効果的なのか、“子どもとの関わり方のコツ”を学ぶプログラムです。親と子がより良い関わり方で家庭生活が送れるよう、同じ悩みを持つ保護者の皆さんと一緒に学んでみませんか。

期日等▼下表参照(全て金曜日、全4回)

期日	内容
5月23日	第1回…オリエンテーション、子どもの行動を3種類に整理しよう、好ましい行動を増やすには
6月13日	第2回…好ましくない行動を減らすには
7月4日	第3回…子どもの協力を増やす方法
9月5日	第4回…リラックスした雰囲気の中での情報交換

時間▼午前9時30分～11時15分(午前9時20分受け付け開始)

場所▼なごみ総合支援センター

対象▼村内在住で、おおむね3歳児～小学3年生の子を持つ保護者

定員▼先着20人

参加費▼無料

講師▼根本仁子さん(ペアレント・トレーニングリーダー)

申し込み・問い合わせ▼5月1日(木)から15日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く)に、電話で子ども発達支援センター(なごみ総合支援センター内 ☎282-3443)へ申し込みください。

ふるさと歴史
～自然を探して～

ドクウツギとニワウルシの共存

東海村文化財保護審議会委員

菊池 芳文

東海村の海岸林ではドクウツギとニワウルシが見られます。ドクウツギ類は、地中海地域、ヒマラヤ、日本、東南アジア、オセアニア、中・南米と特異な分布を示す落葉低木です。日本では近畿以東の本州、北海道に分布し、一般に実と呼ばれる瘦果が猛毒なことで有名です。ドクウツギ類の化石には、瘦果、葉、花粉があります。最古の化石はフランスの2400万年前ごろの地層からです。日本では、福島県の700万年～900万年前ごろの地層、群馬県の350万年前ごろの地層、鹿児島県の77万年前ごろの地層から知られています。ニワウルシは落葉高木です。中国と台湾に自生します。日本のニワウルシは明治時代に移入したものです。しかし、過去の状況は現在と大きく異なり、種子や葉の化石から、2400万年前～350万年前ごろには、世界中にさまざまなニワウルシ類が分布したといわれています。日本では、北海道の1100万年前～1500万年前ごろの地層と群馬県の350万年前ごろの地層



【ドクウツギ(『東海村の自然誌』より)】



【ニワウルシ(『広報とうかい』(令和6年9月25日号)より)】

層から報告されたエゾニワウルシ、鹿児島県の77万年前ごろの地層からのニワウルシがあります。それは、太古の日本では繁栄した後に絶滅し、中国や台湾で生き延びていたことを意味します。そして、同様な歴史を持つイチヨウやメタセコイアと同じく、人の手によって中国などから移入された樹木です。地層の年代も場所も大きく異なる群馬県と鹿児島県の化石の記録から、太古の日本列島にドクウツギとニワウルシが広く共存していたことは明らかです。現在の東海村で、遠い昔の日本と同様にドクウツギとニワウルシの共存が見られることは、環境や生態の変化を知る上で大変貴重なことです。※ニワウルシについては「広報とうかい」(令和6年9月25日号)で、歴史と未来の交流館・安嶋隆副館長が紹介しました。

